

樹 め じ

No.115
2014.5



悲喜捨

あしひきの山郭公

きりはへて誰かまさると

音をのみぞ鳴く

古今和歌集 読人知らず

「をりはへて」は、ずっと

との意。歌意は「山のホト

トギスは誰にも鳴くことで

は劣らないと、ずっと声を

上げている」。

梅から桜、そしてツツジと、花は春から夏にかけて咲くものに、鳥のさえずりもウグイスからホトトギスへと遷ってきた。

目には青葉

山ほどとぎす 初がつお

この五月は青葉、ホトトギス、かつおの良い時期だと詠ついている。調べてみると今から三〇〇年ほど前の人、享保年間の俳人、山口素堂の作であつた。青葉ホトトギス、かつおと三つも季語が入つていて、重ね季語の句になつていてのが特徴である。青葉は、冬に葉の落ちた枝にしだいに芽吹いてくる。一年中同じ緑色だつたら、葉の色がどんどん変化するから感動する。これが句になるような感動はかえつて生まれないだろう。眼で見る視覚の青葉、耳で聞く聴覚のホトトギス。この鳴き声は、ウグイスの

「ホー ホケキヨ」といいやすい鳴き声とは異なり、「東京特許許可局」などと聞こえ、舌の回りづらい鳴き方をする。三つめは、舌で味わう味覚の初鰹。かつおの好きな方はこの句を少しもじつて「ネギ大葉、山ほど盛つて、初鰹」などと詠み、旬の良さとともに食べ方の良さも示している。

さて、記念館の改修工事は、四階上にある男子トイレの改修が始まった。また、正道館一階に作成中であった理科室二教室が完成し、授業で使用し始めている。

正道館五階の男子トイレも改修工事が終わり、現在は三・四階のトイレ改修工事に移っている。一方で、既に始まっている第六・校舎の解体工事が進んでいる。この工事により、記念館と正道館との間は仮囲いで、この工事によって、正道館との間に行き交うようになつていて、新校舎建設は、四月十日に地鎮式が行われ、着工の運びとなつた。新校舎棟の完成は九月末を予定しています。教頭尾内正彰

強き男

樹徳中学校・高等学校校長
野口 秀樹



僧侶の世界のことも書かれていますので、意味を取りづらい箇所もございますが、ぜひお読みいただけたらと思います。（表現は全部原文のまま）

「野口健策君を偲ぶ」

寺内 大吉

（前芝増上寺台下・直木賞作家）

若葉がさらに勢いよく育ち、陽光に輝く季節です。新入生も学校生活に馴染み、樹徳生の一人としての自覚も生まれて参りました。

さて、五月には先人達へ感謝の法要を行う「緑陰祭」が執り行われます。

創立者の野口周善先生も、第二代の野口健策先生も、五月にご命日を迎えます。その日が近づきますと、不思議なことに、私の前にはさまざまできことが訪れます。

つい先日、私の父（野口健策）に送られた手紙を見つけました。差出人は寺内大吉氏です。二人は友人でした。そして実は、寺内氏は私の義父にあたります。私にとって、この手紙は父親同士のやりとりです。

浴したことを。さらにこの春以来、病勢が容易ならざるところへ来ていることもあります。

柴田は僕らと同じ佐賀の

浄土宗寺院の子弟だが復員後、寺を離れてしまった。した

めに僕らとの交渉が断絶してしまったのである。大正

大学時代はカヌーのチャン

ピヨンで君もよく記憶して

いると思う。

大学時代はカヌーのチャン

ピヨンで君もよく記憶して

いると思う。

それにして三十六年ぶり

り、いきなり彼の口から君

の名が出たのはなぜか。二

十二日の深夜のこの刻限、

君は離れたとき輪廻の里を

離れ、西方淨土へ旅立とう

としているのだった。

柴田は柔道場で君に手玉

にとられた思い出を懐かし

げに語つた。

「ほんとうに強い奴だった」

放送のあと柴田を我が家へ伴い、遅くまで懐旧談にふけった。学徒出陣で別れて以来じつに三十六年ぶりの再会であった。柴田は現

在、鳴子で中学校の校長をしている。

柴田は柔道場で君に手玉

にとられた思い出を懐かし

げに語つた。

「ほんとうに強い奴だった」

放送のあと柴田を我が家へ伴い、遅くまで懐旧談にふけった。学徒出陣で別れて以来じつに三十六年ぶりの再会であった。柴田は現

在、鳴子で中学校の校長をしている。

柴田は柔道場で君に手玉

にとられた思い出を懐かし

げに語つた。

柴田は柔道場で君に手玉

にとられた思い出を懐かし

げに語つた。

になつた。
君は僕に相談してきた。
「俺は戦争で多分死ぬだろう。俺の人生を振り返つてみると柔道だけだつた。強いものに憧れてきた。戒名にそんな文字を盛りこみたいんだ。何かうまい奴を考えてくれよ」

僕は答えた。

「ひねくりまわす必要はないだろう。率直に自分の好きな文字を選べよ。」

君はロイド眼鏡の奥で眼

を笑わせた。すでに法名の字柄は考えついていたに違

いない。その法名が現在のものだ（強蓮社力薦）。

戦後しばらく僕らは逢わ

なかつた。僕らの世代に

とつて戦後とはあらゆる意

味で再出発、旧交を温めて

いる余裕などなかつたとい

うのが実情だろう。

再会した君はすでに頑質な病根を抱え込んだ身であつた。若き日の強い男、そのイメージは崩れ、僕は痛

ましい思いで君を眺めた。

しかし、交友のヨリが濃

密に戻つてくるにつれ、僕

は君を見直し始めていた。

若い日の剛毅は内面化し、

より強く逞しく成長していく

たのだった。粘り強く病と斗いつつ、地道にかつ倦まずたゆまず寺門の教化と学校教育に専念する君。この辛抱は通常の人間の果たしたものに憧れてきた。戒名にそんな文字を盛りこみた

やはり野口健策は強い男だつたのである。

（中略）

野口健策君。

君にはなお十年の余齢を惜しみたい気持は、僕も人後におちない。しかし強い

男野口健策は寂光の淨土にあつてなお阿弥陀如來の片腕となつて衆生救濟に挺身

することであろう。

大善寺檀信徒に、樹徳學園の子弟に、君の慈愛がいつもも注がれることを信じて、『偲ぶ一文』とした

この文章を読むと、自然と涙があふれてきます。そして、亡き父の遺志を受け継ぎ、さらに努力を重ね、学園の発展に尽くしていきました。

昭和五十四年七月五日
（昭和五十四年七月五日）

この文章を読むと、自然と涙があふれてきます。そして、亡き父の遺志を受け継ぎ、さらに努力を重ね、学園の発展に尽くしていきました。

（昭和五十四年七月五日）

合掌

生きかたも変わってくる

入試と学習

五月を迎え、新入生の学校生活も落ち着いてきたことと思います。授業もいよいよ本格稼働、軌道に乗りつつあることでしょう。高校生なら誰もが気になる進路や学習に関する事項について、少しお話します。

入試の傾向は、景気回復の実感が広まらない状況の中、卒業後の就職を念頭に置いた「資格・実学志向」と、費用のかからぬ地元国公立大を希望する傾向が相変わらず強いのが特徴です。一方で、少子化による受験者の絶対数の減少はまだ続いているおり、一部の有名大学は別として、「合格しない」あるいは「選ばなければどこかに入れる」状況であることも、ここ数年変わりありません。選ぶ側にとっては、将来を考えて、

校生活も落ち着いてきたことと思います。授業もいよいよ本格稼働、軌道に乗りつつあることでしょう。

どんな学問をどこの大学で学ぶかという「入りたい大学」をよく考えられる時代であると言えるでしょう。これらの傾向は、まだしばらくは続くと考えられます。

次に、学習方法について。

この点では、入試状況のように、時代や社会情勢による変化に左右されないものがあるのです。大切なのは、「考えて」「理解し」「反復する」ということにつきます。同じ時間をかけても成績に差がでることはあります。ですが、その差を埋めるのが時間と工夫です。時間をかけずに良い成果を出すなどという方法は絶対にありません。また、忘却曲線も無視できません。授業を受け、その日のうちに復習をすれば、三週間後でも70%の内容が頭に残っていますが、何もせずに過ごしてしま

と、わずか15%しか残らないという驚くべき事実があります。予習し、授業を復習がわりに聞き、予習での問題点、疑問点を授業中に解決してしまうのが、勉強方法のベストと言えるでしょう。予習は、頭脳の活動力を鍛えるという点でも非常に効果的ですし、反復で知識量は常にハイレベルに保たれるのです。そしてこれは、受験勉強に限ったことではなく、運動、その他さまざまなお仕事も同じなのです。

交通ルールを例にとってみます。規則ですから、禁止事項があり、制約・制限があります。そこで、「自由にしろ」とばかりに、その規制を外したらどうなるでしょうか。交通は混乱し、事故が多発し、自由どころか不自由この上ない麻痺状態になることは、誰もが予想できることです。同様に、ラッシュ時の駅で、人がわざ先にと争つて電車の入り口めがけて殺到したらどうなるでしょうか。「早く乗る」という欲望だけが全ても優先したら、秩序というものはなくなってしまいます。

ルールやマナーは、ある特定の人のためにあるのではありません。駅でのルールやマナーが駅員さんためにあるのではないのと同じく規則はありません。駅員さんたまに、学校の校則・ルールは、先生のためにあるのではありません。故意に規則を破したり違反したりするときは、交通ルールを無視して混乱を起こし、事故を起すことがあります。結果は、多くの人々の反感を買い、周囲に迷惑をかけ、自分を不自由にし、生活を暗いものにしてしまうことになるのです。とにかく規則などを強要されていると抵抗や反発を持つ人がいますが、けつしてそうではありません。ルールやマナーは集団生活の中でより良く生きる為の礎であります。集団の一員として私たち一人ひとりが積極的にまりを守ろうではありませんか。

ルールやマナーは誰のため

(数学科 桜井 龍太)

学校や職場など、集団生活でのきまり・規律・規則は、誰もが気持ちよく生きるためにあります。そのための生活の知恵であると思います。交通ルール、



桐生錦町一丁目 盛運橋薬局前

■樹徳コミュニティセンター「み法」 5月の行事予定
10日・17日・24日(土) 販売実習
①東北復興支援「希望の環」及び南三陸海産物の販売
②相田みつを美術館取り扱い商品
③樹徳高校「心の暦」
④アクセサリー(ネックレス・ブレスレット)

(生徒指導部)



第一學年 學年目標

- 望ましい生活習慣の確立と、人間関係の形成
○学力の向上と、学習習慣の定着

男子部学年主任

須藤雅人



一、目標の設定

将来の自分の姿・求める人間像が明確でなければ、

歩き出す方向が定まりません。行き先がわからないままに時間を浪費することは、好みないことではあります。なりたい自分になるのです。そのため、自分で自分を見つめ、自問自答し、早期に目標を設定してください。

女子部学年主任
飯田 豊

飯田
農



高めることでもあります。諸君を見守つてくれていて、保護者をはじめとする人々を喜ばせることにも繋がります。

三、ルールを守る
高校生です。半分、大人です。自制心・公共心・感謝・奉仕・忍耐。これらは当然のごとく、あらゆる場面で要求されます。できて当たる前です。

「かんのんさまがみている。ほとけさまがみている。みんなみている。ちゃんとみている。」
基盤を固めましょう。

女子部1年k組 学力試験の様子

第1学年 担任紹介

コース	クラス	担任・副担任
男子部 総合	J1	村上良太
	J2	上田敏之・[主任]須藤雅人
	J3	長 諒順
	J4	大島哲平・小野澄一郎
	SS	飯田豊・マーク・J・ライト
	K	新井誠
特進	S	家住誠・松井恭央
特進		
進学		
学年付き		林 傑樹
女子部 総合	j1	馬込祥貴・梅沢洋一
	j2	竹澤奈保子
	j3	石川翠・渡邊秀明(国語科)
	ss	[主任]飯田豊
	k	阿久澤純江
学年付き		戸室雄一・設楽仁香
一貫校	4-1	[主任]北爪充
	4-2	川辺幸枝・横倉正巳

将来同じ職場で働くことになるとは、高校時代には夢にも思いませんでした。さ
らにその先生は私の叔父の友人でもあります。そのように考えると、私は幼少の頃から樹徳高校と運命的な縁があったと言えるのかかもしれません。

さまざまな出会い、それらがどこで、どのように結びつくかは誰にも分かりません。何年かたつて振り返ったときに、「ああ、あの出会いがあつて、今があるんだな」と運命的なものを感じるのかもしれません。樹徳高校との出会いが皆さんに多くの幸をもたらしてくれることを願っています。

樹徳高校に入学して

実のものにできると確信しています。

新入生が入学して一ヶ月が経ちました。今の素直な気持ちと抱負を、一名の生徒作文から紹介します。

目標達成に向けて

一年J4組 中野 凱斗
(前橋桂萱中出身)



る熱意を実感できたことから、この高校なら自分の目標を達成できることを確信し、入学を決意しました。

入学してまだ間もないで

すが、樹徳高校の学校生活で特徴的だと感じたのは、

仏教の教えを学ぶことで

す。まだ理解するところま

では達していませんが、こ

の教えが三年後の自分、将

来の自分の成長に必ずプラス

に働くと思っています。

期待と不安を胸に高校生

活が始まりましたが、入学

式での校長先生の言葉が心

に残っています。それは、

「保護者の方に感謝」です。

不安が期待に変わりまし

た。今ではどの部活に入っ

ます。そして、クラスメイ

トがいます。こう思うと、

二つ目は、いつでも前向

きな気持ちで、「今」を樂

しむことです。これから大

変なことや諦めそうになる

こともあります。そのためには、なかなか高校生活に慣

れることができず、わから

ないことがばかりでした。

そんな私のまわりを見れば、温かく、いつでも助けになってくれる先生方がい

ます。そして、クラスメイ

トがいます。こう思うと、

思つて乗り越えたいです。

自分が決めた道、夢は諦めません。人生で一度しかな

い高校生活を思いきり満喫

したいです。

— 5 —

これからの高校生活に向けて

一年ss組 長岡 明咲
(足利坂西中出身)



ることが目標です。
高校三年間の目標とし

て、私は二つ定めました。
一つ目は、時間を有効に

使うことです。自分の夢を実現するためには、弱い自分に勝つ必要があります。

メソッドをつけて生活しています。

二つ目は、いつでも前向

きな気持ちで、「今」を樂

しむことです。これから大

変なことや諦めそうになる

こともあります。そのためには、なかなか高校生活に慣

れることができず、わから

ないことがばかりでした。

そんな私のまわりを見れば、温かく、いつでも助けになってくれる先生方がい

ます。そして、クラスメイ

トがいます。こう思うと、

思つて乗り越えたいです。

自分が決めた道、夢は諦め

ません。人生で一度しかな

い高校生活を思いきり満喫

したいです。

— 5 —

樹徳高校に入学して

新入生が入学して一ヶ月が経ちました。今の素直な気持ちと抱負を、一名の生徒作文から紹介します。

目標達成に向けて

一年J4組 中野 凱斗
(前橋桂萱中出身)



る熱意を実感できたことから、この高校なら自分の目標を達成できることを確信し、入学を決意しました。

入学してまだ間もないですが、樹徳高校の学校生活で特徴的だと感じたのは、

仏教の教えを学ぶことで

す。まだ理解するところま

では達していませんが、こ

の教えが三年後の自分、将

来の自分の成長に必ずプラス

に働くと思っています。

期待と不安を胸に高校生

活が始まりましたが、入学

式での校長先生の言葉が心

に残っています。それは、

「保護者の方に感謝」です。

不安が期待に変わりまし

た。今ではどの部活に入っ

ます。そして、クラスメイ

トがいます。こう思うと、

思つて乗り越えたいです。

— 5 —

樹徳高校に入学して

新入生が入学して一ヶ月が経ちました。今の素直な気持ちと抱負を、一名の生徒作文から紹介します。

目標達成に向けて

一年J4組 中野 凱斗
(前橋桂萱中出身)



る熱意を実感できたことから、この高校なら自分の目標を達成できることを確信し、入学を決意しました。

入学してまだ間もないですが、樹徳高校の学校生活で特徴的だと感じたのは、

仏教の教えを学ぶことで

す。まだ理解するところま

では達していませんが、こ

の教えが三年後の自分、将

来の自分の成長に必ずプラス

に働くと思っています。

期待と不安を胸に高校生

活が始まりましたが、入学

式での校長先生の言葉が心

に残っています。それは、

「保護者の方に感謝」です。

不安が期待に変わりまし

た。今ではどの部活に入っ

ます。そして、クラスメイ

トがいます。こう思うと、

思つて乗り越えたいです。

— 5 —

樹徳高校に入学して

新入生が入学して一ヶ月が経ちました。今の素直な気持ちと抱負を、一名の生徒作文から紹介します。

目標達成に向けて

一年J4組 中野 凱斗
(前橋桂萱中出身)



る熱意を実感できたことから、この高校なら自分の目標を達成できることを確信し、入学を決意しました。

入学してまだ間もないですが、樹徳高校の学校生活で特徴的だと感じたのは、

仏教の教えを学ぶことで

す。まだ理解するところま

では達していませんが、こ

の教えが三年後の自分、将

来の自分の成長に必ずプラス

に働くと思っています。

期待と不安を胸に高校生

活が始まりましたが、入学

式での校長先生の言葉が心

に残っています。それは、

「保護者の方に感謝」です。

不安が期待に変わりまし

た。今ではどの部活に入っ

ます。そして、クラスメイ

トがいます。こう思うと、

思つて乗り越えたいです。

— 5 —

樹徳高校に入学して

新入生が入学して一ヶ月が経ちました。今の素直な気持ちと抱負を、一名の生徒作文から紹介します。

目標達成に向けて

一年J4組 中野 凱斗
(前橋桂萱中出身)



る熱意を実感できたことから、この高校なら自分の目標を達成できることを確信し、入学を決意しました。

入学してまだ間もないですが、樹徳高校の学校生活で特徴的だと感じたのは、

仏教の教えを学ぶことで

す。まだ理解するところま

では達していませんが、こ

の教えが三年後の自分、将

来の自分の成長に必ずプラス

に働くと思っています。

期待と不安を胸に高校生

活が始まりましたが、入学

式での校長先生の言葉が心

に残っています。それは、

「保護者の方に感謝」です。

不安が期待に変わりまし

た。今ではどの部活に入っ

ます。そして、クラスメイ

トがいます。こう思うと、

思つて乗り越えたいです。

— 5 —

樹徳高校に入学して

新入生が入学して一ヶ月が経ちました。今の素直な気持ちと抱負を、一名の生徒作文から紹介します。

目標達成に向けて

一年J4組 中野 凱斗
(前橋桂萱中出身)



る熱意を実感できたことから、この高校なら自分の目標を達成できることを確信し、入学を決意しました。

入学してまだ間もないですが、樹徳高校の学校生活で特徴的だと感じたのは、

仏教の教えを学ぶことで

す。まだ理解するところま

では達していませんが、こ

の教えが三年後の自分、将

来の自分の成長に必ずプラス

に働くと思っています。

期待と不安を胸に高校生

活が始まりましたが、入学

式での校長先生の言葉が心

に残っています。それは、

「保護者の方に感謝」です。

不安が期待に変わりまし

た。今ではどの部活に入っ

ます。そして、クラスメイ

トがいます。こう思うと、

思つて乗り越えたいです。

— 5 —

樹徳高校に入学して

新入生が入学して一ヶ月が経ちました。今の素直な気持ちと抱負を、一名の生徒作文から紹介します。

目標達成に向けて

一年J4組 中野 凱斗
(前橋桂萱中出身)



る熱意を実感できたことから、この高校なら自分の目標を達成できることを確信し、入学を決意しました。

入学してまだ間もないですが、樹徳高校の学校生活で特徴的だと感じたのは、

仏教の教えを学ぶことで

す。まだ理解するところま

では達していませんが、こ

の教えが三年後の自分、将

来の自分の成長に必ずプラス

に働くと思っています。

期待と不安を胸に高校生

活が始まりましたが、入学

式での校長先生の言葉が心

に残っています。それは、

「保護者の方に感謝」です。

不安が期待に変わりまし

た。今ではどの部活に入っ

ます。そして、クラスメイ

トがいます。こう思うと、

思つて乗り越えたいです。

— 5 —

一貫校

中学校

だより

平成二十六年度
入学式



入学式 暖かな言葉

暖かな春の訪れを感じる
今日、僕たち新入生四十三名は、無事入学式を迎えることができました。

この恵まれた環境の中で中学校生活がスタートできる事は、家族をはじめ、多くの方の支えがあるからだと思います。心から感謝したいと思います。緊張と不安の中にも、これから始まる学校生活への期待で胸がいっぱいです。新しい友達、先輩、先生方との出会い、多くの経験ができると思うと、とても楽しみです。

平成二十六年四月九日
新入生代表 中野領也

入学して思うこと

- ・ 勉強も部活も一所懸命取り組む。
・ 中学校の生徒としての誇りと自覚を持ち、何事にも精一杯努力する事を、ここに誓います。
- ・ 先輩方と仲良くなりたい。
・ 岡田真央子
- ・ 勉強も運動も両立させた先輩方と仲良くなりたい。
・ 小林愛奈
- ・ 友達とともに頑張りました。
・ 石川真望
- ・ 友達と共に学校行事を楽しめた。
・ 清水彩菜
- ・ 委員長としてクラスをまわり。
・ 成塙花音
- ・ 先輩と仲良く楽しく部活動をする。
・ 渡辺蘭
- ・ 友達と一緒に勉強と部活を始めた。
・ 星野しづく
- ・ 先輩方とも仲良くしていきたい。
・ 渡邊里奈
- ・ 樹徳のHRのやり方等を身につけたい。
・ 尾花諒
- ・ 先輩方とも仲良くしていきたい。
・ 小野雄飛
- ・ 先輩方とも仲良くしていきたい。
・ 藤掛道成
- ・ 友達と一緒に勉強と部活を始めた。
・ 田中亜怜
- ・ 友達と一緒に勉強と部活を始めた。
・ 神田涼
- ・ 友達と一緒に勉強と部活を始めた。
・ 清水思音
- ・ 友達と一緒に勉強と部活を始めた。
・ 田口翔矢
- ・ 友達と一緒に勉強と部活を始めた。
・ 田村彪馬
- ・ 友達と一緒に勉強と部活を始めた。
・ 德井駿太

桜舞い散る中、第十四回入学式が行われました。六年間の学校生活への期待を胸に、十四期生四十名が入学いたしました。

僕たちは思いやりと感謝

樹徳中学校は、海外語学研修をはじめとして、沢山の行事があります。上級生の皆さんを目指に、様々な行事に、一所懸命に取り組み、挑戦していくとともに、仲間との絆を深めていきました。校長先生や諸先生方、上級生の皆さん、どうか温かいご指導よろしくお願ひします。

- ・ 積極的に話しかけ友達を作りたい。
・ 由上周吾
- ・ 勉強も部活も一所懸命取り組む。
・ 浅川結愛
- ・ 先輩と一緒に部活を頑張りたい。
・ 原島央壮
- ・ 先輩を追い抜かす気持ちで頑張る。
・ 山田翔貴
- ・ 明るく元気な仲間と楽しごたい。
・ 藍原莉々香
- ・ 先輩方と一緒に頑張りたい。
・ 石川真望
- ・ 友達と一緒に勉強と運動を頑張る。
・ 牛久保麻理
- ・ 授業を大切にする、時間を守る。
・ 須藤妃南
- ・ 楽しく充実した学校生活を送る。
・ 昆愛馨
- ・ 友達と一緒に勉強と部活を始めた。
・ 渡辺蘭
- ・ 友達と一緒に勉強と部活を始めた。
・ 阿部紘大
- ・ 新しい友達と一緒に行事を楽しみたい。
・ 渡邊里奈
- ・ 友達と一緒に勉強と部活を始めた。
・ 尾花諒
- ・ 友達と一緒に勉強と部活を始めた。
・ 田中亜怜
- ・ 友達と一緒に勉強と部活を始めた。
・ 神田涼
- ・ 友達と一緒に勉強と部活を始めた。
・ 清水思音
- ・ 友達と一緒に勉強と部活を始めた。
・ 田口翔矢
- ・ 友達と一緒に勉強と部活を始めた。
・ 田村彪馬
- ・ 友達と一緒に勉強と部活を始めた。
・ 德井駿太

樹徳 中高一貫教育 学校見学会

5月17日(土) 9:00 ~ 11:30

- ◆中1 親子茶道教室
- ◆中3 海外語学研修説明会
- ◇高校 土曜補習

お問い合わせ・お申し込みは
前日までにお電話で

TEL 0277-45-2257

い。
・ 中澤政祐
・ 勉強を頑張りたい。
・ 長谷川倫哉

5月(正思)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一 貫 校	幼 稚 園
1	木		中1山荘合宿(～2日)	
2	金	授業料納入日 後援会総会準備会	授業料納入日	保育料納入日
3	土		憲法記念日	
4	日		みどりの日	
5	月		こどもの日	
6	火		振替休日	
7	水	県総体壮行会(7時限目) マイドリーキャンペーン 夏服引き渡し	計算オリンピック③	
8	木		漢字王②	花祭り(大善寺)
9	金	県高校総合体育大会(～11日)	新体力テスト	群私幼定期総会
10	土			
11	日			
12	月	男女合同朝礼 内科検診③	第1回お役に立とう週間(～18日)	年長・個人面談(～16日) ダンス・文字
13	火	検尿②	計算オリンピック④ 早朝自主学習(～21日)	
14	水	後援会総会 授業参観		歯科検診(全学年) 英語・文字
15	木	漢字テスト① 高校総体陸上(～18日)		体育・文字
16	金			4・5月生まれ「お誕生会」
17	土	職員研修日	中高一貫校見学会① 中1親子茶道教室 中3語学研修説明会	
18	日	3年河合塾記述模試①		
19	月	LHR 第1回法人役員会	挨拶運動	年中・個人面談(～23日) 法人役員会 ダンス・文字
20	火	中間試験(～22日) 職員内科検診 遠足下見3年	中間試験(～21日) 避難訓練	
21	水	遠足下見2年	交通安全教室	内科検診(全学年) 英語・文字
22	木	3年就職ガイダンス① 遠足下見1年 緑蔭祭会場作成		むし歯予防教室 県幼教育課程研究協議会 体育・文字
23	金	二代目校長ご命日(36回忌) 緑蔭祭・記念講演会	緑蔭祭・記念講演会	緑蔭祭参加
24	土	樹徳会総会	中2 AED講習会	
25	日	1・2年河合塾全統模試①		
26	月	男女合同朝礼 内科検診④	挨拶運動	年少・個人面談(～30日) ダンス・文字
27	火		計算オリンピック⑤	群私幼PTA総会
28	水			お茶のお稽古①(年長) 英語・文字
29	木	初代校長ご命日(65回忌) 貧血検査 小児生活習慣病検診	漢字王③	体育・文字
30	金	出欠統計 検尿(追加・再) 女子制服アフターサービス 前期教育実習生オリエンテーション		
31	土			

※1日は高等学校・一貫校・幼稚園の安全点検日です



樹徳高等学校
樹徳中学校
樹徳幼稚園

〒376-0023 群馬県桐生市錦町一丁目1番20号
TEL. 0277-45-2258 Fax. 0277-47-1671
〒376-0022 群馬県桐生市稻荷町4-12
TEL. 0277-45-2257 Fax. 0277-45-2262
〒376-0013 群馬県桐生市広沢町三丁目4475
TEL. 0277-53-5571 Fax. 0277-53-5572

E-mail office@po.jutoku.ed.jp URL <http://www.jutoku.ed.jp/>

印発行所責任者
太陽印野口工業秀樹株

夢は大きく 根はふかく